



志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和4年 4月28日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

パーソナルポートフォリオ～人を劇的に変える取組～

校長 関根 久美子

今年のゴールデンウィークは、企業にとっては、少しの有給休暇を取得することで大型連休になる可能性もあるようです。どこかに、出かける予定がある方もいるようです。どうか安全に気を付けてお過ごしください。先日の朝会でも、児童には話しました。交通事故、水の事故、火遊び、子供たちの周りには危険がいっぱいです。

子供たちと話をしていると「どうせ○○だから」「どうせ足が遅いんだから」「どうせ勉強できないんだから」などと、自分の「良さ」を見ることができず「ネガティブな感情」をもっている子がいます。「あなたには○○ないところがあるよ」と伝えても、納得した顔をしません。私は、いろいろな「能力」「性格」などには差があるけれど、どの子も「自分のことを好きになってほしい」と思うのです。保護者の皆様も、「自分のここが好き」とはっきりと言うことができる方は少ないのではないのでしょうか。小学生ならなおさらです。「自分の好きなところを書き出してごらん」と言っても「う～ん」と鉛筆がなかなか動きません。そこで、一つの提案が「パーソナルポートフォリオ」です。「パーソナル」は「個人」、「ポートフォリオ」は「紙ばさみ」、「パーソナルポートフォリオ」は、子供たちの「絵や作品」（図工の作品は写真にとって）「手紙」「頑張った記録賞」「完走賞」「宝物の写真」など、入れておくものです。「紙ばさみ」では散逸してしまいますので、クリアポケットなどを活用すると便利です。ちょうど4月ですので、「今年度の目標」を一番初めに入れるのもいいでしょう。家族と旅行に行った思い出をメモにして、写真に入れてもいいと思います。ポケットの中身が集まってきたら、その時の「うれしかった」「楽しかった」「頑張った」を言葉にして一緒に挟んでおきます。後になって、パラパラと振り返り、「自分を大切にすること」につながります。ポケットには「楽しかったこと」「うれしかったこと」など「ポジティブなこと」しか入れません。だから、いつ見返しても、楽しめます。自分が生きた記憶は、「いいこと」も「嫌なこと」も徐々に薄れていきます。過去にとらわれて「ネガティブなこと」を振り返ってばかりいると、自分の記憶は「嫌なこと」で上書きされていきます。「いいこと」は薄れ「嫌なこと」が上書きされ、「どうせ…」と自分のいいところが見えなくなってしまいます。

だから、「パーソナルポートフォリオ」で「いいこと」で自分の記憶を上書きし、「自分を好きになる」ことで、自分に自信をもって、自分が好きになってほしいのです。もちろん、中に入れる「メモ」は保護者の方が書いてもいいです。「あなたのこんなところが好き」「あなたが○○してくれてうれしい」と「ポジティブな感想」を伝えてください。

「毎日やらなければならない」「これを入れなくては」というものではありません。入れるものがあったら「入れる」でいいのです。学校から持って帰る多くの「作品」「プリント」はどうしていらっしゃいますか。ちょっとした工夫で、子供が自分で自分を支える、「子供を劇的に変える取組」になるはずです。

何があったとしても「過去は決して変えることはできません。」自分の力で変えられるのは「今日」からつながる「未来」です。